

GE-2-i-09	C 医療社会論	第2学年	後期 選択必修	1.5単位
担当者	三澤 仁平			
一般目標 (GIO)	現代社会は医療や健康という概念抜きには秩序を構成できなくなっている。これは見方を変えれば、医療や健康は社会的構築物であり、これらの枠組みを通じて、現代社会におけるさまざまな問題を見つめなおすことができるとも言えよう。本講義では健康と病いの社会学における基礎的概念を紹介するとともに、それらの概念を用いて、巨視的かつ微視的に医療や健康の観点から現代社会の諸問題を検討したい。また、これらを踏まえて現代社会におけるさまざまな事象を医療・健康の視点から自分なりに考察できることを目指す。			
到達目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> 健康と病いの社会学における基礎的概念を理解できる。 医療や健康が社会との関連で構築されていることを理解できる。 現代社会における諸問題を、医療・健康の視点から自分なりに考察できる。 			
受講心得・準備学習等	現代社会におきているさまざまな問題にアンテナを張っておくこと。			
事後学習・復習等	取り扱ったテーマに対して、自分自身の頭で論理的に考える姿勢を継続的にもつこと。			
オフィスアワー	メール等により対応する。			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義形式でおこなうが、ときどきディスカッションをおこなう
回	項目	内容
1	イントロダクション	本授業の構成概説
2	健康とは何か (1)	健康概念の概説 ～ ビオスとゾーエー
3	健康とは何か (2)	社会的視点から見た健康 ～ 社会的構築物としての健康
4	現代社会と健康 (1)	健康に関する社会的な問題 ～ タイタニック号の悲劇
5	現代社会と健康 (2)	現代社会の健康の格差・不平等 ～ 健康の社会的決定要因
6	健康を保持する (1)	人間関係、ネットワークと健康との関係 ～ つながりの形態
7	健康を保持する (2)	相対所得仮説と健康との関係 ～ ひとはまわりと比べて生きている
8	健康を保持する (3)	ソーシャル・キャピタルと健康との関係 ～ 根をもつということ
9	健康を保持する (4)	健康格差是正のための理論と政策 ～ 健康になるための政策的展開
10	健康を再考する (1)	医療化と製薬化～ 抗うつ薬の功罪
11	健康を再考する (2)	健康至上主義 (ヘルシズム) と健康志向化 ～ 健康になりたい身体
12	健康を再考する (3)	補完代替医療・統合医療と健康との関係 ～ 非西洋医学への傾倒
13	健康を再考する (4)	不安と健康との関係 ～ 〈不安〉を生み出す精神性
14	まとめと総括	全体のまとめ

成績評価の方法	課題レポートおよび平常点 (リアクションペーパーおよびディスカッションにおける貢献) から評価する。
成績評価の基準	課題レポート 70 点、平常点 30 点の合計点が 60%以上を合格とする。
教科書	使用しない。
参考書など	